

持続可能な育林と責任ある伐採/違法原木の排除

世界的に環境意識の高い今だからこそ、カナダの林産品の競争力は高まっていると言えます。カナダ林産業の持続可能性に関する高い評価は、森林の保護と管理に関する総合的な法規制によって支えられていますが、この評価は一夜にして得られたものではありません。カナダ連邦政府も州政府も30年以上にも渡って積極的に持続可能な森林管理を支援してきました。

現在、消費者はこれまでにないほど積極的に環境を重視した選択を行っています。カナダ事業開発銀行の報告によると、世界の消費者の半分以上が環境面を考慮した上で購入を判断しています。

同時に、各国政府は違法伐採による原木調達と、違法伐採を原因とする環境への損害を阻止するための取り組み姿勢を強化しています。欧州連合、米国、オーストラリアなどがその好例です。

違法伐採による被害

違法伐採と違法原木の取引は世界各地で大きな問題となっており、経済的にも社会的にも、そして環境面でも損害を及ぼしています。違法林産品貿易の阻止に当たっているインターポールのデータによると、違法伐採によって森林が失われるだけでなく、政府歳入や経済の安定性、市民の健康も大きく損なわれます。世界銀行によると、違法木材の輸出が合法材の輸出を上回るという非常に深刻な状況の国もあるほどです。インターポールの調べでは、違法伐採と、違法伐採を支えている汚職によって国家政府がこうむっている損失は、世界で毎年約300億米ドルに上ります。

カナダの森 – 世界の財産

- カナダの森林総面積は3億4800万ha
- 94%が公有林、主に州/準州が所有。連邦や先住民の所有林もわずかに存在
- 施業対象面積は2億3200万ha
- 世界の森林のうち9%がカナダに所在
- 総森林面積のうち伐採対象となるのは毎年わずか0.2%

カナダ林産品 - 責任ある調達

カナダ林産業界は5つの原則を堅持

1. 合法的な伐採
2. 伐採地の速やかな森林再生
3. 廃棄物削減/回収とリサイクルを奨励
4. 温室効果ガスを削減し気候変動対策に貢献
5. 森林管理実務に対する第三者監査を歓迎

カナダの強み

カナダには林産業を取り締まる厳格にして強固な法規制が整っています。だからこそカナダ全土で違法伐採のリスクが実質上皆無なのです。またトランスペアレンシー・インターナショナルや世界銀行の反腐敗ランキングでも常に世界トップクラスの成績を保っています。こうした指標から、消費者の皆さまにはカナダ産材の合法性を信頼できることがお分かりいただけるでしょう。

カナダはまた、世界一の認証林保有国ですが、世界の森林の認証林の割合は10%に過ぎません。第三者による森林認証規格は森林法規の遵守を確認するものであり、森林管理実務の文書化を求めています。また生物多様性や水質、絶滅危惧種に関する所定の規則の遵守も要求しています。カナダではカナダ規格協会(CSA)、持続可能な森林イニシアチブ(SFI)、森林管理協議会(FSC)という、世界的に認められた3つの森林管理規格が使用されています。

カナダの評価

- 持続可能な開発のための世界経済人会議と世界資源研究所は、カナダは疑わしい原木供給と汚職の発生が他のどの国よりも少ないと報告
- 英国木材貿易連盟はカナダ林産品の違法性リスクは低、カナダの製品証明書類の信頼性は高と格付
- スペイン木材輸入協会はカナダの違法伐採のリスクは非常に低いとしている
- コンサルティング企業であるInduforは欧州委員会の依頼で作成した報告書において、カナダの違法伐採リスクを低と格付
- カナダが伐採する商業樹種のうち、「絶滅のおそれのある野生動植物種の国際取引に関する条約(CITES)」に記載されているものは皆無

最後になりますが、世界最大規模の森林保全イニシアチブであるカナダ寒帯林協定が2010年に締結され、林産企業と環境団体が手を結び、競争力に富んだ強力な林産業と、守られ持続可能に管理された寒帯林がカナダで創り出されていくことになったことを記しておきます。



FPAC はカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーションな新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有す労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66%の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。